

カリフラワー・・・Ⅱ

担当者 技能研究員 三上 益由

試験課題名	早出品種適応試験
目的	早出カリフラワーの本町に適応した品種を選定するために比較検討し普及に資する
期待される成果	高品質で生産が安定できる技術を習得し生産性の向上と収益の増加を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会一般野菜部会

1 供試品種・資材

品種

※ バ ロ ッ ク (サカタ)	は く す い (サカタ)
パールホワイト (武蔵野種苗)	ピュアホワイト (武蔵野種苗)
雪 ま つ り (武蔵野種苗)	スノークラウン (タキイ)
N - 4 0 (野崎採種場)	M S D - 7 2 2 (武蔵野種苗)

※基準品種

2 耕種概要

土 質 ~ 埴壤土

前 作 ~ スイートコーン

播 種 日 ~ 5月2日 定 植 日 ~ 5月31日 収 穫 日 ~ 7月24日

栽植密度 ~ 畦幅75cm × 株間45cm 2,962株/10a当たり

3 土壤診断結果と施肥量

(1) 土壤診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
5.7	0.095	46.5	32.8	47.4	169.0	9.2

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭カル ~ 200kg 堆 肥 ~ 0kg

(3) 施肥内容 (成分量%)

基 肥 ~ N S 2 6 2 (16 - 10 - 14) 5月29日 全層施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基 肥	N S 2 6 2 100kg	16.0	10.0	14.0
合 計		16.0	10.0	14.0

4 調査項目

生 育 調 査 ~ 播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・出蕾期

生育(出蕾期)・収穫期・生育日数

収 量 調 査 ~ 平均花蕾重・総重量・調整重・慣行比・規格別割合・病害虫

特 性 調 査 ~ 外観(形状・しまり・色・凹凸・花蕾の包葉)

マルチ使用区

5 生育調査

項目	品種	バロック	はくすい	パールホワイト	ピュアホワイト	雪まつり	スノークラウン	N-40	MSD-722
播種日		5月2日							
発芽期		5月14日	5月14日	5月14日	5月14日	5月14日	5月15日	5月15日	5月14日
発芽率(%)		98.5	97.6	97.4	94.7	98.4	99.7	97.6	98.2
定植日		5月31日							
定植時の苗質	葉数(枚)	2.4	2.9	2.5	2.6	2.2	3.2	2.5	2.4
	苗の全長(cm)	12.4	12.9	14.7	13.3	12.9	13.8	13.4	12.6
出蕾期		7月3日	7月2日	6月28日	6月29日	6月28日	7月3日	7月3日	6月29日
生育(出蕾期)	葉数(枚)	14.4	19.0	15.7	16.3	16.7	19.2	14.1	15.3
	葉長(cm)	42.8	45.7	33.8	35.6	39.6	44.0	52.9	39.4
収穫期		7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日
生育日数		83日	83日	83日	83日	83日	83日	83日	83日

6 収量調査

項目	品種	バロック	はくすい	パールホワイト	ピュアホワイト	雪まつり	スノークラウン	N-40	MSD-722
総重量(kg/10a)		3,965	3,880	2,073	2,044	2,636	4,384	4,917	2,281
調整重(kg/10a)		2,020	1,940	1,037	1,022	1,321	2,201	2,458	1,140
平均花蕾重(g/個)		682	655	350	345	446	743	830	385
慣行比(%)		100	96	51	51	65	109	122	56
規格別割合(%)	2L以上	30	30	0	0	0	30	40	0
	L	30	20	0	0	10	10	20	10
	M	30	30	10	0	20	40	40	30
	M未満	10	20	60	90	60	10	0	30
	規格外	0	0	30	10	10	10	0	30
病虫害(無0~4甚)		1	1	2	2	1	1	1	2

※規格 2L 800~1000g以上 L 650~799g

M 500~649g

7 特性調査

項目	品種	バロック	はくすい	パールホワイト	ピュアホワイト	雪まつり	スノークラウン	N-40	MSD-722
外観	形状 (良5~1不良)	3	4	2	3	3	3	3	3
	しまり (良5~1不良)	3	3	3	2	2	3	4	2
	色 (良5~1不良)	3	3	2	2	3	3	3	3
	凹凸 (良5~1不良)	3	3	2	2	3	3	3	3
	花蕾の包葉 (良5~1不良)	3	4	3	2	3	2	4	2

8 防除歴

殺虫剤	5月31日	オンコルマイクロカプセル	200倍	6月19日	エルサン乳剤	1,000倍
	6月13日	アディオオン乳剤	2,000倍	7月11日	アディオオン乳剤	2,000倍

マルチ不使用区

5 生育調査

項目	品種	バロック	はくすい	パールホワイト	ピュアホワイト	雪まつり	スノークラウン	N-40	MSD-722
播種日		5月2日							
発芽期		5月14日	5月14日	5月14日	5月14日	5月14日	5月15日	5月15日	5月14日
発芽率(%)		98.5	97.6	97.4	94.7	98.4	99.7	97.6	98.2
定植日		5月31日							
定植時の苗質	葉数(枚)	2.4	2.9	2.5	2.6	2.2	3.2	2.5	2.4
	苗の全長(cm)	12.4	12.9	14.7	13.3	12.9	13.8	13.4	12.6
出蕾期		7月3日	7月3日	6月29日	6月29日	6月29日	7月3日	7月3日	6月29日
生育(出蕾期)	葉数(枚)	14.6	21.0	14.2	15.7	17.4	19.4	17.2	15.8
	葉長(cm)	43.2	40.8	42.0	42.3	39.7	48.7	51.8	43.5
収穫期		7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日	7月24日
生育日数		83日	83日	83日	83日	83日	83日	83日	83日

6 収量調査

項目	品種	バロック	はくすい	パールホワイト	ピュアホワイト	雪まつり	スノークラウン	N-40	MSD-722
総重量(kg/10a)		3,801	2,370	3,066	2,964	2,695	5,124	5,213	3,258
調整重(kg/10a)		1,902	1,200	1,555	1,466	1,354	2,577	2,607	1,659
平均花蕾重(g/個)		642	405	525	495	457	870	880	560
慣行比(%)		100	63	82	77	71	136	137	87
規格別割合(%)	2L以上	30	0	0	0	0	60	70	20
	L	20	0	20	20	10	30	30	0
	M	20	20	50	30	30	10	0	60
	M未満	20	60	30	40	50	0	0	20
	規格外	10	20	0	10	10	0	0	0
病虫害(無0~4甚)		1	2	1	2	2	1	1	1

※規格 2L 800~1000g以上 L 650~799g

M 500~649g

7 特性調査

項目	品種	バロック	はくすい	パールホワイト	ピュアホワイト	雪まつり	スノークラウン	N-40	MSD-722
外観	形状 (良5~1不良)	3	3	2	3	4	2	3	3
	しまり (良5~1不良)	3	2	2	4	3	3	4	3
	色 (良5~1不良)	3	3	2	3	3	2	3	3
	凹凸 (良5~1不良)	3	3	2	3	4	3	3	3
	花蕾の包葉 (良5~1不良)	3	2	2	3	3	3	4	3

8 防除歴

殺虫剤	5月31日	オンコルマイクロカプセル	200倍	6月19日	エルサン乳剤	1,000倍
	6月13日	アディオオン乳剤	2,000倍	7月11日	アディオオン乳剤	2,000倍

9 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 育苗は5月2日に128穴セル成型トレーに播種をし、バロック他5品種は、5月14日に発芽期を迎え、スノークラウンとN-40は5月15日となった。発芽率は全品種94.7%以上と良好であった。
- ② 定植は、マルチ使用区と不使用区に分け、5月31日に行った。定植時の苗質は、葉数が3.0枚以上となったのがスノークラウンとなり、苗の全長で14.0cm以上がパールホワイトであった。
- ③ 出蕾期は、マルチ使用区で最も早かったのがパールホワイトと雪まつりの6月28日、つづいて29日にピュアホワイト・MSD-722となり、その他の品種は7月2日と3日にそれぞれ出蕾した。マルチ不使用区では、はくすい・パールホワイト・雪まつりが使用区よりも1日おくれの出蕾となった。その他の品種は両区で同日となった。
- ④ 出蕾期の生育調査では、葉数はN-40がマルチ使用区で14.1枚、不使用区で17.2枚と最も差が現れた。葉長はパールホワイトがマルチ使用区で33.8cm、不使用区で42.0cmとなり8.2cmの差となった。

(2) 収量調査

- ① 総重量はマルチ使用区、不使用区ともにN-40が最も高く、不使用区でも10a当たり5,213kgとなった。また、バロックとはくすい以外の品種は全てマルチ不使用区の方が高い結果となった。
- ② 調整重でも両区ともにN-40が最も高く、平均花蕾重もマルチ不使用区で880gとなり、ピュアホワイトと雪まつり区はMサイズに届かない結果となった。
- ③ 規格別割合では、2L以上がマルチ不使用区でスノークラウン60%、N-40が70%と上々であったが、マルチ使用区ではそれぞれ30%・40%となり、ピュアホワイトはM未満が90%とかなり小玉が多い結果となった。

(3) 特性調査

外観ではバロックを基準品種として、マルチ使用区では、はくすいが形状・花蕾の包葉で4(良5~1不良)となり、N-40はしまり・花蕾の包葉で4となった。マルチ不使用区では、パールホワイトが全項目で2となったが、雪まつりは形状・凹凸で4となり、N-40はここでもしまり・花蕾の包葉で4となった。

(4) 考察

定植後の初期生育は、マルチ不使用区で生育状況の悪い株が目立ち心配されたが、出蕾期には生育が回復してマルチ使用区との違いが無くなり、全品種の平均総重量では使用区 3,273kg/10a、不使用区 3,561kg/10aで干ばつの影響もあったのか、マルチの効果が確認できなかった。